



2019年9月

- [Cisco DNA Spaces の概要 \(1 ページ\)](#)
- [新機能 : 2019年9月 \(2 ページ\)](#)
- [機能強化 : 2019年9月 \(3 ページ\)](#)
- [不具合 \(3 ページ\)](#)

Cisco DNA Spaces の概要

Cisco DNA Spaces は、物理的なビジネス拠点で訪問者をつなぎ、連携できるようにするマルチチャンネルエンゲージメントプラットフォームです。小売、製造、サービス業、医療、教育、金融など、さまざまな業種のビジネスを対象としています。Cisco DNA Spaces は、施設内の資産を監視および管理するためのソリューションも提供します。Cisco DNA Spaces は、これらの情報を実行に移すためのさまざまなツールキット、アプリ、および API を提供します。

このリリースの主な機能は次のとおりです。

- Meraki サービスアカウントを使用した Meraki ネットワーク同期のサポート。
- モバイルユーザーが Wi-Fi およびモバイルネットワーク間で自動的かつシームレスにローミングできるようにする OpenRoaming アプリ。
- ブラジルの場合、データキャプチャフォームに入力された電話番号の市外局番検証、およびソフトまたはハード SMS 認証（ランタイム）に指定された電話番号。
- [Data Capture] フォーム（ランタイム）の [CPF] フィールドに入力された数値を自動フォーマットできるようにするためのプロビジョニング。
- エンタープライズ キャプティブ ポータル（ランタイム）でのデータキャプチャのサポート。

新機能 : 2019年9月

Cisco DNA Spaces ダッシュボード

次の新機能が Cisco DNA Spaces ダッシュボードに追加されました。

Meraki のサービス アカウント ワークフロー

組織、ネットワーク、AP などの Meraki ネットワークの詳細は、Meraki サービスアカウントを使用して Cisco DNA Spaces に取得されます。以前は、Meraki の顧客アカウントは、Meraki の詳細の取得と、その後のネットワーク同期に使用されていました。

このサポートを利用するには、Cisco Meraki ネットワークを使用しているお客様は、Meraki カスタマーアカウントから Meraki サービスアカウントを招待する必要があります。フィルタ処理された組織の Cisco Meraki ダッシュボードにある **[Organization]** > **[Administrators]** > **[Add Admin]** オプションを使用して、Meraki サービスアカウントを招待できます。Meraki サービスアカウントの電子メール ID については、Cisco DNA Spaces サポートチームにお問い合わせください。

ただし、Cisco DNA Spaces を Cisco Meraki に接続するには、引き続き Meraki カスタマーアカウントを使用する必要があります。お客様の Meraki アカウントは、ユーザーがアクセス可能なロケーション階層にネットワークをインポートするために使用されます。サービスアカウントは、ロケーション階層を最新の状態に保つためのバックグラウンドネットワーク同期に使用されます。

OpenRoaming アプリ

OpenRoaming アプリを選択したお客様は、OpenRoaming アプリを利用できるようになりました。

OpenRoaming アプリを使用すると、モバイルユーザーが Wi-Fi およびモバイルネットワーク間で自動的かつシームレスにローミングできるようになります。ID プロバイダー (IDP) は、顧客が定義した統合メカニズムを通じて Wi-Fi ユーザーを識別および認証し、ユーザーのプロファイルの詳細を Cisco DNA Spaces OpenRoaming プラットフォームと共有します。

Openroaming は、Cisco AireOS と Cisco Meraki ネットワークの両方をサポートします。両方のネットワークで、このアプリを利用するには Cisco DNA Spaces Connector を使用する必要があります。OpenRoaming を有効にするには、Cisco DNA Spaces サポートチームに連絡する必要があります。

Open Roaming アプリは、収集したデータに基づいてさまざまなレポートを提供します。OpenRoaming 対応ネットワークに接続されているデバイスの総数、インターネットトラフィック (ネットワークを介して発生したデータ交換)、接続の総数、平均訪問時間、固有のデバイスグラフ、IDP ごとのデバイス、月間インターネットトラフィック (特定の月のネットワーク上でのデータ交換)、日次平均訪問時間、および顧客ごとに使用されたデータ (これらは、日

次、週次、月次、またはカスタム期間などの特定の期間でフィルタリングできます) がレポートに表示されます。

機能強化：2019年9月

Cisco DNA Spaces ランタイム

Cisco DNA Spaces ランタイムには、次の変更が加えられています。

ブラジルの市外局番の検証

ブラジルの電話番号の検証が強化され、市外局番の検証が含まれるようになりました。ダイヤルコード「+55」の電話番号の後には、ブラジルの市外局番のいずれかが続く必要があります。有効な市外局番のみが受け入れられます。たとえば、**00** は有効な市外局番ではないため、**+5500xxxxxxx** は無効です。この検証は、キャプティブポータル上の任意のロケーションで取得された携帯電話番号に適用されます。

CPF フィールドマスキング

[Data Capture] フォームの [CPF] フィールドが拡張され、入力された値が「000.000.000-00」形式に変換されるようになりました。ユーザーが CPF の数値を入力すると、数値は自動的にフォーマットされます。したがって、キャプティブポータル上のユーザーは、必要な形式を維持するためにドットやハイフンを手動で追加する必要はありません。

エンタープライズポータルデータ交換

キャプティブポータルランタイムは、エンタープライズキャプティブポータルと Cisco DNA Spaces 間のデータ交換をサポートするようになりました。これにより、顧客は独自のエンタープライズキャプティブポータルを持ち、収集したデータを Cisco DNA Spaces に保存できます。これにより、顧客はエンドユーザーにパーソナライズされたエクスペリエンスを提供できます。

不具合

不具合では、Cisco DNA Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの不具合」と「未解決の不具合」では、このリリースの不具合を示します。

各不具合について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各不具合には、一意の識別子 (ID) が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNNN というパターンで、*x* は任意の文字 (a ~ z)、*N* は任意の数字 (0 ~ 9) です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルによく使用されます。Technical Assistance Center (TAC) エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の不具合の ID が提供されます。

- 説明：不具合が発生したときに観察された内容の説明。

ここでは、次の内容について説明します。

Cisco Bug Search Tool

Cisco Bug Search Tool (BST) は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BSTは、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

未解決のバグ

表 1: 未解決のバグ

CDETS ID 番号	説明
CSCvr12826	ダッシュボードにログインできず、タイプエラーがスローされ、大文字は機能していない。
CSCvq31873	LIVE : Webex チームの URL オプションとエンゲージメントルールのメールオプションを取得できない。
CSCvr21932	RBAC : V3 SNMP バージョンを使用してコントローラを作成できない (コントローラの作成に失敗)
CSCvq83680	RBAC : 特定の場所にアクセスできる管理ユーザーは、ダッシュボードにログインできない。
CSCvq83686	広告ブロッカーが有効になっていると、ダッシュボードを起動できない。
CSCvq99869	ポータル : アセットを含むポータルをコピーすると、新しく作成されたポータルにアセットが追加されない。
CSCvp96608	セットアップ ウィジェット インポート コントローラの数 Spaces コネクタに対して正しくない。
CSCvq79930	RBAC : トークンの有効期限が切れている場合、アクティベーションリンクをクリックすると、「ユーザーをアクティベートできませんでした」がスローされる。
CSCvq41890	RBAC : ACM ユーザーにログインすると、最初に CP にリダイレクトされ、次に ACM ページが表示される。
CSCvq24076	Right Now : ロケーション階層を変更すると、既存の関連するカウンタがクリアされない。
CSCvp57525	ロケーション分析 : 滞留時間の値が小さい場合、滞留時間内訳チャートで滞留時間範囲 % が重複している

修正されたバグ

表 2: 修正されたバグ

CDETS ID 番号	説明
CSCvr12782	基本サブスクリプションアカウントの WLC Direct ウィジェットのトークンを表示できない。
CSCvr22232	パスワードの有効期限が近づくと、ユーザーはパスワードを変更できなくなる。
CSCvq89946	コネクタコンテナのアップグレードは、qa-dnaspaces クラウドからは機能しない。
CSCvq99180	Cisco DNA Spaces クラウドに表示されるコネクタのステータスが、コネクタの UI ステータスと一致しない。
CSCvr39336	API サーバー：既存のアクティベーションに追加された新しいフロアのイベントの詳細が見当たらない。
CSCvr46654	1つのアプリを編集集中に接続が切断され、複数のアプリが同じロケーションでアクティブになった。
CSCvr23534	訪問開始時に SSID 情報を受信せず、後から受信した場合、訪問者数が正しくない。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。